

教科名	音楽	科目名	ソルフェージュ（3年次）【2単位】	
授業形態	楽曲の聴き取りや、読譜及び視唱			
選んでほしい生徒	3年次生対象であり、楽譜に関する知識や読譜の能力が必要である。音楽大学、短大、音楽関係の専門学校、保育専門学校、保育系短大等に進学する生徒は選択することが望ましい。			
科目の目標	音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。			
身に付けてほしい学力	楽譜を見て様々な情報を読み取り歌唱、器楽演奏ができる能力や、音や音楽を正しく聴き取り記譜する能力を高め、四年制音楽大学、短大及び音楽系専門学校受験に対応できる能力の習得を目指す。また、学んだことを豊かな表現活動に生かすことができる。			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<p>【1学期】 コールユーブンゲン 聴音 演習</p> <p>【2学期】 コールユーブンゲン 聴音 演習</p> <p>【3学期】 コールユーブンゲン 聴音 演習</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜の基礎的な仕組みについて学習する。</li> <li>・演習を通して、読譜能力を高める。</li> <li>・1、2学期よりもさらに難度の高い課題に取り組み、総合的なソルフェージュ能力の育成を図る。</li> <li>・1年間の学習のまとめをする。</li> </ul>	
評価の観点・評価方法	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
	・音楽を愛好し、音や音楽に関心を持ち、意欲的・主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。	・感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫ができる。	・自己のイメージをもち、創造的な表現をするための技能を身に付けている。	・自己や他者の表現を聴きとり、相互に批評することができる。
	上記の観点を踏まえ、実技試験 筆記試験 提出物 授業態度を総合的に判断して評価する。			
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実技系の授業内容が多いので、休まず授業に出席してソルフェージュ能力の向上に努める。</li> <li>2 実技では自分なりの表現を大切にしたい。</li> <li>3 定期考査では、実技試験も含めて筆記試験も実施することがあるので学習した内容をまとめておくこと。</li> </ol>			
教材費	864円（コールユーブンゲン 大阪開成館発行）			
その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 何かの検定につながることはない。</li> <li>2 音楽大学受験のための学習が主であるが、それ以外の生徒の選択も可能であり、音楽の基礎的な内容を学習する。</li> </ol>			